

## 令和3年度防災教育推進セミナー 実施要項

## 1 目的

物理学者でありながら随筆家でもあった寺田寅彦は「災害は忘れたころにやってくる」という言葉を残した。寺田の言葉どおり、近年では、東日本大震災をはじめとして全国各地で自然現象による社会や人間への被害が発生している。そこでは、いくつもの命が失われ、被災者の中には、未だに苦しみを抱えた人々やふるさとを離れざるを得なかった人々が数多くいる。また、現在に目を向けてみると、我々は新型コロナウイルスという災禍の中にいる。

自然現象によって社会や人間に被害が発生するメカニズムには、人間が築いてきた社会に潜在する脆弱性が深く関係している。そのため、その人がおかれた立場や状況によって「被災」の様相は異なる。つまり、人間の健康や命が脅かされるような悲劇的な出来事の発生には、社会や人間のあり方が深く関係しているのである。これまでの学校教育は、防災教育として、命を守るための知識・技術の伝達、とりわけ発災時に行動できる主体性の育成を目指してきた。「被災」と「社会の脆弱性」が深い関わりをもつとすれば、日本の学校教育は、発災時に行動できる主体性の育成はもとより、個人や社会がもつ災害経験から、社会や人間のあり方を問い直すことができる子どもの育成を目指す必要があるのではないだろうか。

以上の問題意識から、本セミナーでは、災害や厄災を次世代に伝える理論的・実践的な知見を手がかりとして、災害が繰り返される社会において、防災教育はいかに質的転換を図る必要があるのかという根源的な問いを探究する。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 期日 令和3年8月19日（木）～令和3年8月20日（金）

4 実施方法 Web会議ツール（Zoomミーティング）により実施（同時双方向通信を行う）  
※セミナー中は常時接続が必要なため通信環境に留意すること

5 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター  
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

## 6 受講者

## (1) 受講資格

- ①小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等
- ②都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ③都道府県・指定都市・中核市教育委員会等の社会教育主事
- ④教職大学院の学生（教職経験のある者に限る）

## (2) 推薦手続き

推薦期限は、令和3年7月30日（金）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@m1.nits.go.jp」宛て）に、[様式1]により申込を行う。

## (3) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。

7 内容 [別紙1]日程表のとおり

## 8 その他

- (1) Web会議サービス「Zoomミーティング」( (株) Zoomビデオコミュニケーションズ) を用いて同時双方向通信を行う。受講に当たっては、当該ソフトウェアのインストールや安定したインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Webカメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。
- (2) Web会議への参加方法等の詳細については、受講者決定時に通知する。

## 令和3年度 防災教育推進セミナー 日程表

9:15	9:30	10:00	11:00	11:15	12:15	13:15	14:15	14:30	15:30	16:00	
第1日	受付	開講式	オリエンテーション	講義・演習1	休憩	協議1	昼休憩	講義・演習2	休憩	講義・演習3	対話
				防災教育の現状		防災教育の課題		多様な防災教育の展開		「語り継ぎ」がもつ教育的意味	講義・演習3を受けて
				教職員支援機構 アシスタント・フェロー 吉田 尚史		教職員支援機構 アシスタント・フェロー 吉田 尚史		兵庫県立大学 特任教授 諏訪 清二		兵庫県立大学 特任教授 諏訪 清二	

9:00	9:15	9:45	11:15	11:30	12:15	13:15	14:45	15:00	16:00
第2日	受付	オリエンテーション	講義・演習4	休憩	協議2	昼休憩	講義(シンポジウム)	休憩	演習
			災害記憶の継承に関わる理論的課題		災害記憶の継承の実践的課題		災害経験を基盤とする学校教育を実現するための条件		災害経験を基盤とする学校教育のあり方
			東京大学 教授 山名 淳		東京大学 教授 山名 淳		コーディネーター:山名 淳 コメンテーター:諏訪 清二 登壇者:神戸女子大学 教授 梶木 典子 ふたば未来学園中学校・高等学校 副校長 南郷 市兵		教職員支援機構 アシスタント・フェロー 吉田 尚史

## 各講座の目的

1日目	防災教育の全国的動向と先進事例の理解を通して防災教育の可能性を考える
講義・演習1	防災教育の全国的動向の把握を通して、日本の防災教育をめぐる現状を理解する
協議1	自校の防災教育の現状を整理し、課題を考える
講義・演習2	防災教育の先進事例の検討を通して、防災教育の目的・内容・方法の多様性を理解する
講義・演習3	災害を伝える実践事例から、「語り継ぎ」がもつ「社会的な意味」と「個人的な意味」を理解し、その実践的課題を理解する

2日目	従来の防災教育の枠組みに捉われず、学校教育において災害を教材とする難しさや可能性を考える
講義・演習4	災害や厄災を次世代に伝える際の理論的課題や学校教育がそれに向き合う際の留意点を理解する
協議2	講義・演習4の内容を踏まえて、自身の教職経験から実践的課題を考える
シンポジウム	災害経験を基盤とする学校教育を成り立たせるための条件をめぐる討論を通して学校教育が目指すべき姿を考える
演習	災害経験を基盤とする学校教育を構築するにあたり、自身や自校の教育実践の何をどのように変える必要があるのかを考える

**令和3年度防災教育推進セミナー  
受講に当たっての留意事項**

**1 研修用 Zoom ミーティング情報について**

(1) 研修用 Zoom ミーティング ID 等

**令和3年度防災教育推進セミナー**

Zoom ミーティング ID : **\*\*\* \*\*\*\* \*\***

パスコード : **\*\*\*\*\***

**※推薦者からの添付書類を御確認ください。**

(2) 受付日時：令和3年8月19日（木） 9：15～9：30

※セミナー2日目は、オリエンテーション開始（9：15）前までに参加してください。

※参加方法を含む Zoom の操作や機能等については、【資料5】を参照ください。

**2 受講環境・接続テスト等について**

(1) 受講環境等について

インターネットに接続された PC 等を 1 人 1 台御用意ください。常時接続が必要なため、通信環境に御留意願います。また、セミナー中はグループ協議を行うため、Web カメラやマイクも御用意ください。

なお、PC は Windows もしくは MacOS を推奨しています。ChromeOS の PC や iPad 等のタブレットでは、Zoom のホワイトボード機能が使用できない場合がありますので御注意ください。

(2) 使用システムについて

本セミナーは、以下のシステムを使用します。各システムのマニュアル（【資料4】及び【資料5】）を必ず一読のうえ、受講いただくようお願いします。

◆「学びばこ」：講義資料等のダウンロード、セミナーに関するアンケートに回答するために使用します。

◆Zoom：セミナーを受講（講義の視聴、グループ協議等）するために使用します。

※表示名については【資料5】の P. 9 を御参照願います。

(3) 事前接続テストについて

- ・ Zoom の接続確認のため、テスト日（参加任意）を設けます。（所要時間：5～10分程度）
- ・ 事前接続テスト用 Zoom ミーティング情報

**事前接続テスト**

Zoom ミーティング ID : **\*\*\* \*\*\*\* \*\***

パスコード : **\*\*\*\*\***

**※推薦者からの添付書類を御確認ください。**

・ 日程 8月10日（火） 9：00～9：30、16：30～17：00

8月11日（水） 9：00～9：30、16：30～17：00

※上記時間内で任意の開始時間から5～10分程度で接続確認可能

※事前接続テストの詳細については、【資料5】を参照ください。

### 3 携行品について

(1) 研修で使用するために持参する資料等

- ①各講義の配付資料
- ②防災に関する全体計画および年間指導計画や教育委員会が作成した指導の手引き等
- ③その他受講に必要なもの（必要に応じて受講者 ID【資料6】や各種マニュアル等を持参）

(2) その他

追加資料等がある場合は「学びばこ」ログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。定期的に御確認いただくようお願いいたします。

### 4 講義資料、活用許諾等について

(1) 講義資料の配付方法

8月16日（月）を目途に電子データを「学びばこ」に掲載します。（ダウンロード方法等は【資料4】参照）

(2) 講義資料の著作権と活用許諾について

資料活用の許諾の有無、範囲は、各講義資料の表紙に明示します。

(3) 講義の録音、撮影について

原則として禁止します。

なお、セミナー中は、教職員支援機構の事務局が、記録のためにレコーディングをする場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

### 5 アンケートへの回答について

セミナー期間中およびセミナー終了後、「学びばこ」上で各講義のアンケートおよびセミナー全体に関わるアンケートへの回答をお願いします。セミナー期間中に適宜御案内いたします。

### 6 緊急時の連絡について

(1) 教職員支援機構から連絡する場合

緊急時の連絡（自然災害等によりセミナー開始が遅れる場合等）がある場合は、「学びばこ」ログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。また、受講推薦時に登録されたメールアドレス宛てに配信します。

(2) 受講者から連絡する場合

遅刻、早退、欠席をする場合は、事前に必ず下記問合せ先及び推薦者（教育委員会等）に連絡してください。セミナー当日にやむを得ず遅刻、欠席等の事態が生じた際は、下記問合せ先に連絡するとともに、推薦者にも連絡するようお願いいたします。

また、受講途中に受信状況が悪くなり、受講が難しくなった場合は、速やかに下記問合せ先へ連絡してください。

### 7 その他

(1) 氏名等の確認について

【資料6】に記載されている氏名、情報等を必ず御確認ください。誤り・訂正がある場合は、下記問合せ先までお知らせください。

(2) メール受信設定について

迷惑メールのフィルタリング等の設定を行っている場合は、「@ml(IAMIL).nits.go.jp」および

「@nits.go.jp」のドメインからのメールを受信できるよう設定してください。

(3) 追加の連絡等がある場合は、学びばこログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。  
ログイン時、「お知らせ」欄を確認いただくようお願いします。

<問合せ先>

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター 研修プロデュース室 吉田、新庄

TEL：029-879-6998, 7004 FAX：029-879-6645

E-mail：t-online@ml.nits.go.jp

NITSニュース

# メールマガジンの登録

はじめまして！独立行政法人 教職員支援機構（NITS）です。当機構では、全国の教職員の方々を対象に研修を行うとともに、様々な支援事業を行っています。その一環として、金曜日（隔週）にメールマガジンを配信しています。ぜひご登録をお待ちしています。（現在約 19,500 名の登録者がいます）

## 大学の先生によるお話

大学教授等によるコラム、研修内容等の紹介

## 研修受講者によるお話

講義・演習の感想、実践事例の紹介

## NITS オンライン講座の紹介

オンライン講座「校内研修シリーズ」の紹介

## 機構事業の最新情報の紹介

表彰事業、調査研究等、機構の最新情報の紹介



### 〈登録方法〉

- 1 ホームページ下のバナー「メールマガジン」をクリック  
または、QRコードから「NITS ニュース」ページにアクセスしてください。
- 2 「新規登録」をクリックし、必要事項を入力、登録ボタンをクリックしてください。

